

### 1) 2019 年 4 月 13 日 トークイベント「沖縄をめぐるアート」に参加

2019 年 4 月 20 日 - 2019 年 5 月 26 日、岐阜県揖斐郡池田町で開催された野外美術展覧会「[願成寺古墳群美術展](#)」のトークイベント「沖縄をめぐるアート」にゲスト参加した。参加者は、水谷篤司（司会、願成寺古墳群美術展コーディネーター）、平良亜弥（出品アーティスト・沖縄県出身）、夏愛華（出品アーティスト・台湾出身）、前林明次（IAMAS 教授）の 4 名。

### 2) 「これからの創造のためのプラットフォーム」におけるレクチャー・トークイベントの開催

2014 年度から始められたプロジェクト（2019 年度以降は個人研究）「これからの創造のためのプラットフォーム」では、アート、デザイン、思想、暮らし等の様々な領域の実践者の知見に触れながら現代社会の課題を考察し、思考の可動域を広げ、これからの時代の「創造」のあり方を探っている。2019 年度はアーティスト、アーカイブ研究者、図書館ディレクター、公民館館長らを招き講演を開催した。

URL は <http://www.sozoplatform.org>

2019 年 6 月 11 日「核と物」 藤井光（美術家）

2019 年 7 月 12 日「地域にいてつくれるアート」 白川昌生（美術家）

2019 年 10 月 29 日「<アーカイブ>を書き換える」 松本篤（remo[NPO 法人記録と表現とメディアのための組織]）

2020 年 2 月 24 日「パブリックとスペース（会場：ぎふメディアコスモス）」 甲斐賢治（3.11 をわすれないためにセンター・せんだいメディアテークディレクター、宮城潤（那覇市若狭公民館館長）



2019. 6. 11 藤井光 氏



2019. 7. 12 白川昌生 氏



2019. 10. 29 松本篤 氏



2020. 2. 24 甲斐賢治 氏、宮城潤 氏

### 3) 芸術特論Cでのゲスト講師による特別授業

2019. 11. 29 「芸術特論 C」において東洋大学哲学科教授、稲垣 諭 (いながき さとし) 氏を招き、「22世紀身体論」をテーマに特別授業を開催した。



#### 4) 「Sound and Structure (サウンドアンドストラクチャー)」展での出品



展覧会フライヤー

展覧会コンセプト（引用）：

「Structure and Sound -音による構造の知覚-」展では、音の背後にある世界を構造的に見出していくというコンセプトでサウンドアートを探究的に捉え直す試みです。展覧会では、関西初紹介となるイギリス人美術家のマーティン・リッチズ氏と、日本の3作家によって、異なるアプローチで制作された、各作家の作品世界を展開します。作品の根幹をなす構造と音の関係から世界を捉え直す機会となればと考えます。



出品作品：Walks With A Metronome in Okinawa (2019) 前林明次



## 5) 「Sound and Structure」展における対談「トポグラフィとサウンドスケープ」



対談風景（左：佐藤守弘 氏、右：筆者）

2017年に発表されたサウンド・インスタレーション『場所をつくる旅』を、本展のために再構成した前林の作品を中心とした対談。ゲストには『トポグラフィと日本近代』など、多数の著書で知られる視覚文化研究者の佐藤守弘氏を迎え、「場所」の表象が西洋文化との関わりの中でどのように変遷してきたかを考察し、さらに M. シューファー による「サウンドスケープ」の概念が音による場所の表象にどのような影響をもたらしたかについて議論した。

またこの対談は『トポグラフィとサウンドスケープ』と題し、「情報科学芸術大学院大学[IAMAS]紀要第11巻 2019年」に掲載された。